



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 栗田工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6370 URL <https://www.kurita-water.com/>  
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 江尻 裕彦  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 晋一 TEL 03(6743)5054  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年11月28日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		事業利益		営業利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	195,530	3.8	21,219	17.5	21,491	17.5	15,132	18.7	14,932	18.6	8,083	△69.1
2024年3月期中間期	188,363	17.2	18,061	8.7	18,287	11.9	12,749	△0.3	12,595	1.7	26,185	2.5

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	132.83	—
2024年3月期中間期	112.05	—

（参考）税引前中間利益 2025年3月期中間期 21,404百万円（17.7%） 2024年3月期中間期 18,183百万円（3.8%）

（注）事業利益は、売上高から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した恒常的な事業の業績を測る当社グループ独自の指標です。IFRSで定義されている指標ではありませんが、財務諸表利用者にとって有用であると考え、自主的に開示しております。

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	547,809	336,918	334,659	61.1
2024年3月期	557,407	333,411	331,261	59.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2025年3月期	—	46.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	46.00	92.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	6.5	50,000	18.9	49,700	20.5	34,500	18.2	306.81

（参考）税引前利益 通期 49,000百万円（17.5%）

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	116,200,694株	2024年3月期	116,200,694株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,720,527株	2024年3月期	3,822,295株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	112,415,415株	2024年3月期中間期	112,412,402株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社株式（2025年3月期中間期 183千株、2024年3月期 274千株）が含まれております。また、自己株式として計上されている信託に残存する当社株式は、基本的1株当たり中間利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2025年3月期中間期 241千株、2024年3月期中間期 235千株）。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約中間連結財政状態計算書 .....	7
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書 .....	9
(3) 要約中間連結持分変動計算書 .....	11
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報) .....	15
(売上高) .....	17

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 当中間連結会計期間の概況(2024年4月1日～2024年9月30日)

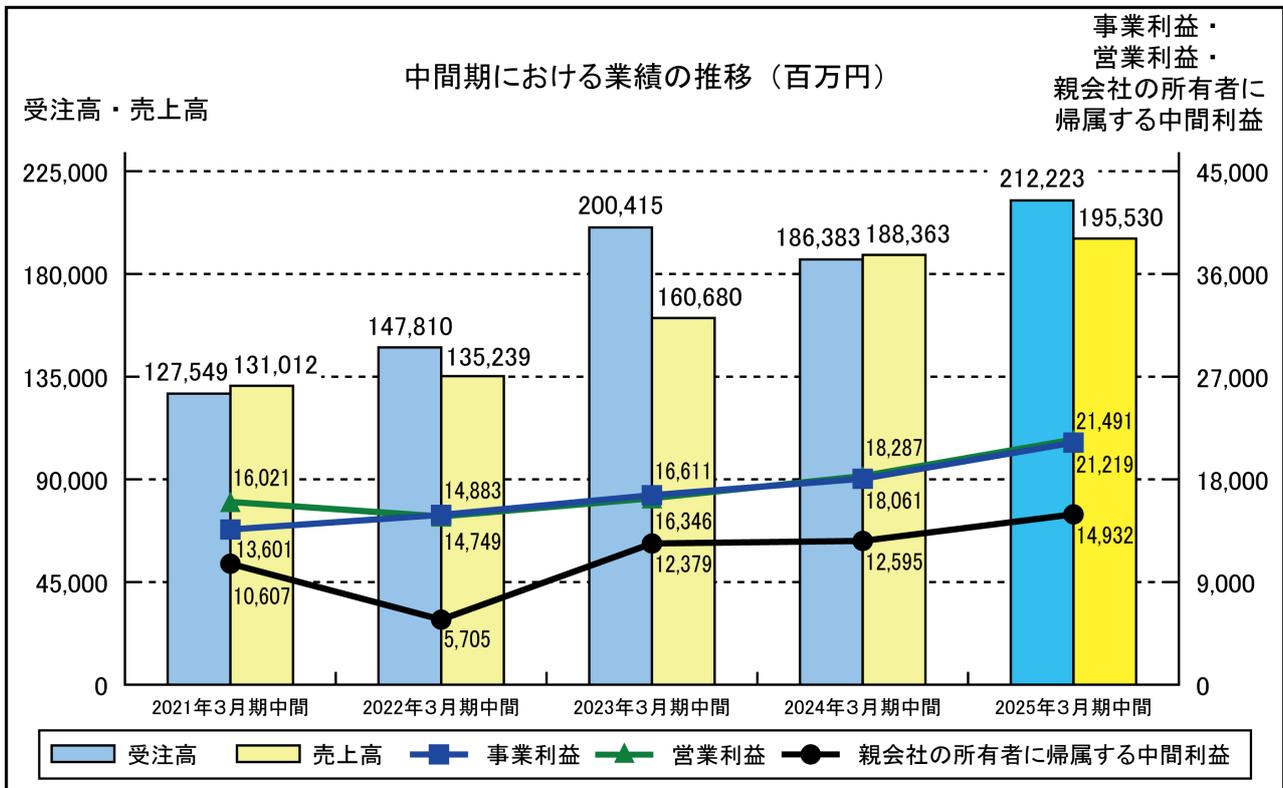
当中間連結会計期間における世界経済は、ウクライナおよび中東情勢の長期化、緊迫化などで依然として不透明な状況が継続し、一部の国・地域では景気回復の動きに力強さを欠きましたが、持ち直しの動きが継続しました。

国内では、製造業の生産活動は、一部自動車メーカーの生産停止解除や半導体などの電子部品の在庫調整の伸展から持ち直しの動きがみられ、設備投資は、高水準の企業収益を背景に底堅い動きが続きました。海外では、米国経済は、堅調に推移しましたが、欧州および中国は、内需に力強さがみられず、回復の動きに停滞感がみられました。中国を除くアジア諸国は、一部に弱さがみられたものの、持ち直しの動きが続きました。

以上の結果、当社グループ全体の受注高は212,223百万円(前年同期比13.9%増)、売上高は195,530百万円(前年同期比3.8%増)となりました。利益につきましては、事業利益※は、21,219百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は、21,491百万円(前年同期比17.5%増)、税引前中間利益は、21,404百万円(前年同期比17.7%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は、14,932百万円(前年同期比18.6%増)となりました。

※事業利益は、売上高から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した恒常的な事業の業績を測る当社グループ独自の指標です。

IFRSで定義されている指標ではありませんが、財務諸表利用者にとって有用であると考え、自主的に開示しております。



2) セグメント別の概況

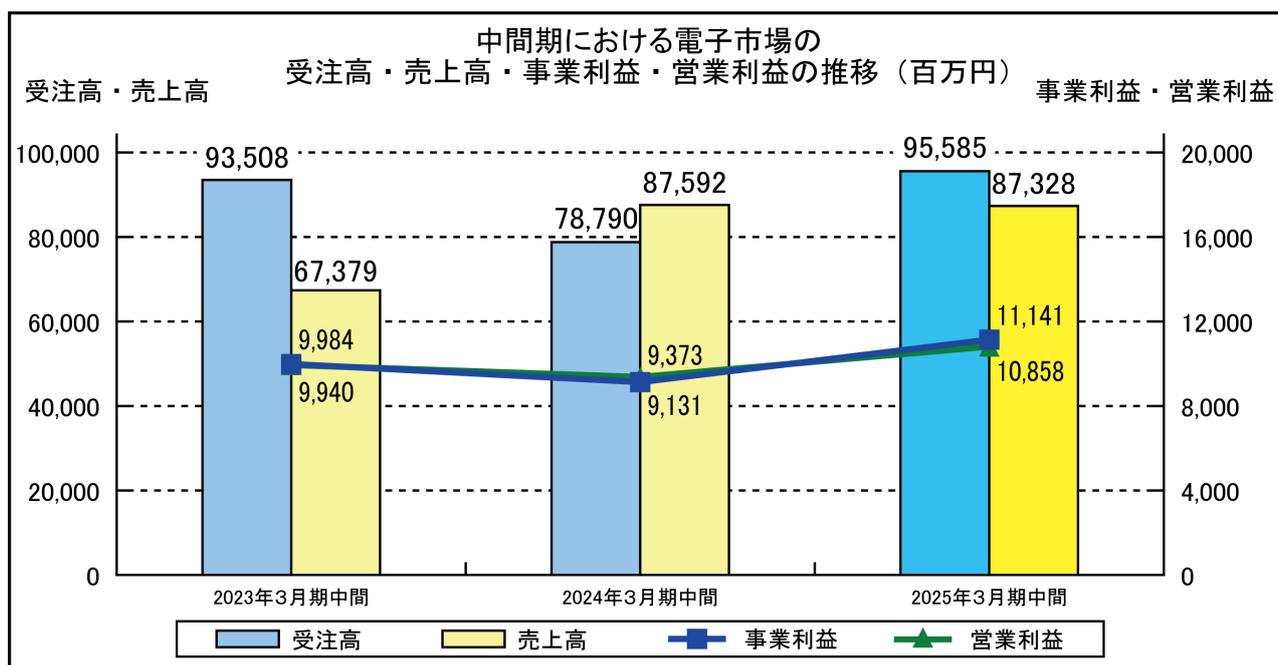
当社グループは、社会やお客様への価値提供の観点で市場毎の特性を深く考察したうえで戦略を策定し、多様な製品・サービスを組み合わせるソリューションの拡大を図るため、「電子市場」および「一般水処理市場」の2つをセグメント情報における報告セグメントとしております。

① 電子

受注高は、95,585百万円(前年同期比21.3%増)となりました。水処理装置は、国内および東アジアで複数の大型案件を受注したことにより増加しました。継続契約型サービスは、新規に稼働した超純水供給事業案件の売上貢献により増加し、精密洗浄も半導体市況の回復を背景に増加しました。

売上高は、87,328百万円(前年同期比0.3%減)となりました。水処理装置は、前年同期の国内大型案件の売上計上の反動で減少し、メンテナンスも減少しましたが、継続契約型サービスや精密洗浄は増加しました。

利益につきましては、比較的原価率が高い装置案件が減少したことによる売上原価率改善の影響を受け、事業利益は、11,141百万円(前年同期比22.0%増)、営業利益は、海外子会社で計上した為替差損の影響があり、10,858百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

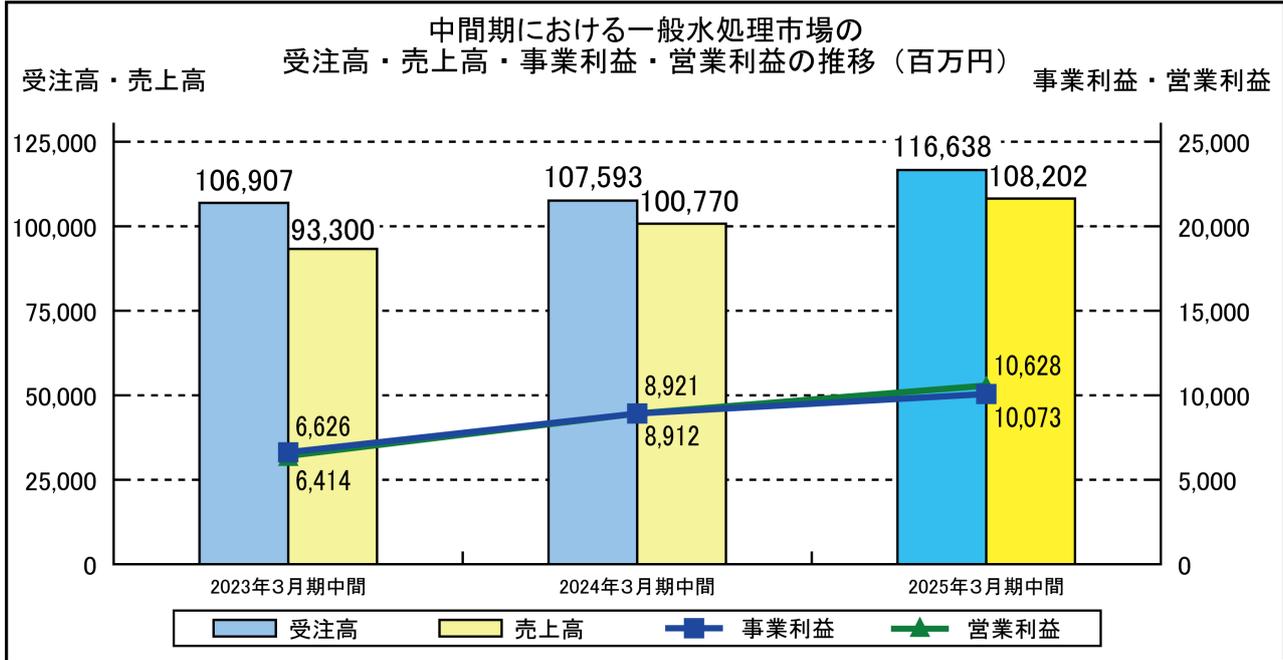


② 一般水処理

受注高は、116,638百万円(前年同期比8.4%増)となりました。水処理装置は、国内における大型案件の受注計上や前連結会計年度第2四半期連結会計期間から連結子会社化したアルカデ社(4社)の影響などにより増加し、メンテナンスおよび継続契約型サービスも増加しました。水処理薬品は、中国および東南アジアの一部において、製造業の生産活動回復の動きに弱さがみられ、円安による円換算額増加の影響を除くと減少しました。

売上高は、108,202百万円(前年同期比7.4%増)となりました。水処理装置は、前述のアルカデ社(4社)の買収影響に加え、前連結会計年度末の受注残からの売上計上で増加し、メンテナンス、継続契約型サービスも増収となりました。水処理薬品は、受注高と同様に、為替影響を除くと減収となりました。

利益につきましては、付加価値の高いCSVビジネスの伸長により、事業利益は10,073百万円(前年同期比12.9%増)となり、営業利益は、前年同期の中国における水処理薬品工場再編に伴う損失が減少したことなどにより10,628百万円(前年同期比19.3%増)となりました。



(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び資本の状況

① 資産合計 547,809百万円(前連結会計年度末比9,598百万円減少)

流動資産は214,826百万円となり、前連結会計年度末比13,192百万円減少しました。これは主に、営業債権及びその他の債権が9,111百万円、その他の流動資産が1,491百万円それぞれ減少したためであります。

非流動資産は332,982百万円となり、前連結会計年度末比3,594百万円増加しました。これは主にのれんが3,216百万円、使用権資産が1,886百万円、無形資産が1,144百万円それぞれ減少したものの超純水供給事業(電子市場)および精密洗浄事業(電子市場)に係る設備の新規取得などにより有形固定資産が10,236百万円増加したためであります。のれんの減少は、円高外国通貨安による円換算額の減少であります。

② 負債合計 210,891百万円(前連結会計年度末比13,104百万円減少)

流動負債は109,983百万円となり、前連結会計年度末比8,637百万円減少しました。これは主に、社債及び借入金金が5,972百万円、その他の流動負債が3,293百万円それぞれ減少したためであります。社債及び借入金金の減少は、主に、コマーシャル・ペーパーを償還したことによるものであります。

非流動負債は100,907百万円となり、前連結会計年度末比4,468百万円減少しました。これは主にリース負債が1,699百万円、社債及び借入金金が1,167百万円、その他の非流動負債が1,110百万円それぞれ減少したためであります。

③ 資本合計 336,918百万円(前連結会計年度末比3,507百万円増加)

これは主に円高外国通貨安に伴う在外営業活動体の換算差額の減少により、その他の資本の構成要素が7,018百万円減少したものの、親会社の所有者に帰属する中間利益の計上等により利益剰余金が10,179百万円増加したためであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は51,753百万円(前連結会計年度末比2,256百万円減少)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動で得られた資金は40,611百万円(前年同期比19,344百万円増加)となりました。これは主に法人所得税の支払額5,676百万円で資金が減少したものの、税引前中間利益21,404百万円、減価償却費、償却費及び減損損失17,066百万円、営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)5,692百万円で資金が増加したためであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動で使用した資金は27,678百万円(前年同期比11,089百万円増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出26,408百万円で資金を使用したためであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動で使用した資金は14,329百万円(前年同期比5,600百万円増加)となりました。これは主に短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)5,827百万円、配当金の支払額4,786百万円、リース負債の返済による支出2,583百万円で資金を使用したためであります。

当社グループは事業運営上必要な流動性確保と安定した資金調達体制の確立を基本方針としております。短期運転資金、設備投資やその他成長分野への投資資金は自己資金を基本としつつも、必要に応じて債券市場での調達や銀行借入を実施しております。なお、当中間連結会計期間末において、当社は取引金融機関2社とコミットメント・ライン契約を締結しております(借入実行残高 一百万円、借入未実行残高 20,000百万円)。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年8月8日発表の「2025年3月期 第1四半期決算短信」に記載しました、2025年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

売上高については、足元の為替レートが前回予想時の想定よりも円安に推移しており、円換算額の増加が見込まれます。また、事業面では、一般水処理セグメントの薬品事業が海外での事業環境の悪化の影響を受けている一方で、電子セグメントで装置事業の売上増や継続契約型サービスにおける一過性の収益計上が見込まれることから、前回予想を上回る見通しです。

事業利益は、上記の増収効果に加え、当中間連結会計期間までの進捗を踏まえた原価率改善を通期でも見込むことから、前回予想を上回る見通しです。

営業利益、税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益についても、事業利益の上方修正と当中間連結会計期間のその他の収益・費用、金融収益・費用の実績を踏まえ、上方修正します。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは異なる場合があります。

2025年3月期 通期 連結業績予想の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 400,000	百万円 47,000	百万円 46,000	百万円 45,000	百万円 33,000	円 銭 293.64
今回修正予想 (B)	410,000	50,000	49,700	49,000	34,500	306.81
増減額 (B-A)	10,000	3,000	3,700	4,000	1,500	—
増減率 (%)	2.5	6.4	8.0	8.9	4.5	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期通期)	384,825	42,055	41,232	41,686	29,189	259.70

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	54,009	51,753
営業債権及びその他の債権	139,464	130,353
その他の金融資産	6,367	5,760
棚卸資産	21,069	21,343
その他の流動資産	7,107	5,616
<b>流動資産合計</b>	228,018	214,826
<b>非流動資産</b>		
有形固定資産	190,973	201,209
使用権資産	22,898	21,012
のれん	71,001	67,785
無形資産	17,485	16,341
持分法で会計処理されている投資	1,422	1,488
その他の金融資産	16,994	17,054
繰延税金資産	8,340	7,923
その他の非流動資産	272	168
<b>非流動資産合計</b>	329,388	332,982
<b>資産合計</b>	557,407	547,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
営業債務及びその他の債務	68,403	69,430
社債及び借入金	19,097	13,125
リース負債	4,603	4,385
未払法人所得税等	5,423	5,989
引当金	2,399	1,654
その他の流動負債	18,692	15,399
<b>流動負債合計</b>	<b>118,620</b>	<b>109,983</b>
<b>非流動負債</b>		
社債及び借入金	58,714	57,547
リース負債	18,774	17,075
その他の金融負債	2,338	2,058
退職給付に係る負債	17,527	17,747
引当金	2,865	2,898
繰延税金負債	1,628	1,162
その他の非流動負債	3,526	2,416
<b>非流動負債合計</b>	<b>105,375</b>	<b>100,907</b>
<b>負債合計</b>	<b>223,995</b>	<b>210,891</b>
<b>資本</b>		
資本金	13,450	13,450
資本剰余金	△361	△422
自己株式	△10,869	△10,571
その他の資本の構成要素	30,383	23,365
利益剰余金	298,658	308,837
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>331,261</b>	<b>334,659</b>
<b>非支配持分</b>	<b>2,150</b>	<b>2,258</b>
<b>資本合計</b>	<b>333,411</b>	<b>336,918</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>557,407</b>	<b>547,809</b>

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書  
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>売上高</b>	188,363	195,530
売上原価	126,076	125,335
<b>売上総利益</b>	62,286	70,195
販売費及び一般管理費	44,224	48,975
その他の収益	1,308	822
その他の費用	1,083	550
<b>営業利益</b>	18,287	21,491
金融収益	356	449
金融費用	525	625
持分法による投資損益(△は損失)	64	88
<b>税引前中間利益</b>	18,183	21,404
法人所得税費用	5,433	6,272
<b>中間利益</b>	12,749	15,132
<b>中間利益の帰属</b>		
親会社の所有者	12,595	14,932
非支配持分	154	200
<b>中間利益</b>	12,749	15,132
<b>1株当たり中間利益</b>		
基本的1株当たり中間利益(円)	112.05	132.83
希薄化後1株当たり中間利益(円)	—	—

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	12,749	15,132
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の公正価値の純変動	437	△49
確定給付制度の再測定	△24	—
純損益に振り替えられることのない 項目合計	412	△49
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	12,994	△6,898
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△20	△79
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	48	△22
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	13,023	△6,999
税引後その他の包括利益	13,435	△7,049
中間包括利益	26,185	8,083
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	25,945	7,904
非支配持分	239	179
中間包括利益	26,185	8,083

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日残高	13,450	△608	△10,638	9,678	222	4,231
中間利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	12,957	△20	437
<b>中間包括利益合計</b>	—	—	—	12,957	△20	437
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	84	78	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—
<b>所有者との取引額合計</b>	—	84	75	—	—	—
2023年9月30日時点の残高	13,450	△524	△10,562	22,636	202	4,668

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	確定給付制度の再測定	合計				
2023年4月1日残高	—	14,132	277,639	293,975	1,784	295,759
中間利益	—	—	12,595	12,595	154	12,749
その他の包括利益	△24	13,349	—	13,349	85	13,435
<b>中間包括利益合計</b>	△24	13,349	12,595	25,945	239	26,185
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
配当金	—	—	△4,383	△4,383	△112	△4,496
株式に基づく報酬取引	—	—	—	162	△2	160
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	24	24	△24	—	—	—
<b>所有者との取引額合計</b>	24	24	△4,408	△4,223	△115	△4,338
2023年9月30日時点の残高	—	27,507	285,826	315,697	1,908	317,606

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業 活動体 の換算差額	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産
2024年4月1日残高	13,450	△361	△10,869	25,144	134	5,104
中間利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△6,899	△79	△49
中間包括利益合計	—	—	—	△6,899	△79	△49
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	△60	300	—	—	—
その他	—	—	—	9	—	—
所有者との取引額合計	—	△60	298	9	—	—
2024年9月30日時点の残高	13,450	△422	△10,571	18,255	54	5,055

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	確定給付制度 の再測定	合計				
2024年4月1日残高	—	30,383	298,658	331,261	2,150	333,411
中間利益	—	—	14,932	14,932	200	15,132
その他の包括利益	—	△7,027	—	△7,027	△21	△7,049
中間包括利益合計	—	△7,027	14,932	7,904	179	8,083
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
配当金	—	—	△4,719	△4,719	△70	△4,790
株式に基づく報酬取引	—	—	—	239	—	239
その他	—	9	△33	△23	—	△23
所有者との取引額合計	—	9	△4,752	△4,505	△70	△4,576
2024年9月30日時点の残高	—	23,365	308,837	334,659	2,258	336,918

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間利益	18,183	21,404
減価償却費、償却費及び減損損失	15,966	17,066
持分法による投資損益(△は益)	△64	△88
固定資産売却損益(△は益)	△34	△7
棚卸資産の増減額(△は増加)	△582	△713
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△8,395	5,692
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,609	3,819
その他	△2,214	△1,120
<b>(小計)</b>	<b>27,467</b>	<b>46,052</b>
利息の受取額	212	312
配当金の受取額	120	89
利息の支払額	△141	△166
法人所得税の支払額	△6,390	△5,676
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>21,267</b>	<b>40,611</b>

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,790	△5,492
定期預金の払戻による収入	3,853	6,165
有形固定資産の取得による支出	△12,331	△26,408
有形固定資産の売却による収入	31	81
無形資産の取得による支出	△928	△1,596
子会社の取得による支出(取得資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)	△3,070	—
その他	△352	△428
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△16,589</b>	<b>△27,678</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△540	△5,827
長期借入れによる収入	9	15
長期借入金の返済による支出	△1,211	△1,177
リース負債の返済による支出	△2,544	△2,583
配当金の支払額	△4,518	△4,786
その他	75	29
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,729</b>	<b>△14,329</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,715	△858
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,336	△2,256
現金及び現金同等物の期首残高	50,468	54,009
現金及び現金同等物の中間期末残高	49,131	51,753

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

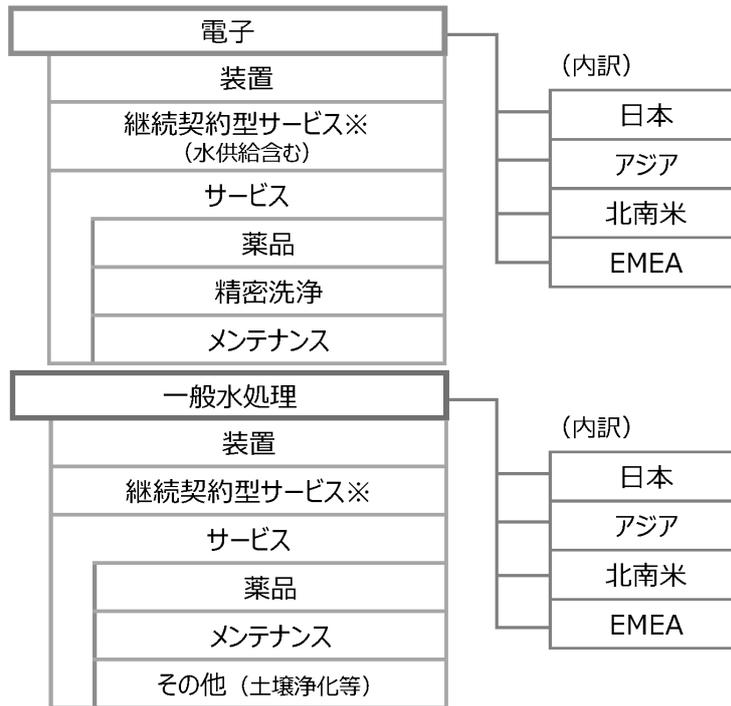
当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)  
該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、社会やお客様への価値提供の観点で市場毎の特性を深く考察したうえで戦略を策定し、多様な製品・サービスを組み合わせるソリューションの拡大を図るため、「電子市場」および「一般水処理市場」の2つを報告セグメントとしております。



※提供サービスの価値に応じた一定の収益を継続的に確保できるビジネス

(2) 報告セグメントに関する情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	要約中間 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子市場	一般水処理 市場			
売上高					
外部顧客への売上高	87,592	100,770	188,363	—	188,363
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	87,592	100,770	188,363	—	188,363
セグメント利益	9,373	8,912	18,286	1	18,287
金融収益					356
金融費用					525
持分法による投資損益(△は損失)					64
税引前中間利益					18,183

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去などが含まれております。

2. セグメント利益は、営業利益の数値であります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	要約中間 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子市場	一般水処理 市場			
売上高					
外部顧客への売上高	87,328	108,202	195,530	—	195,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	87,328	108,202	195,530	—	195,530
セグメント利益	10,858	10,628	21,486	5	21,491
金融収益					449
金融費用					625
持分法による投資損益(△は損失)					88
税引前中間利益					21,404

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去などが含まれております。

2. セグメント利益は、営業利益の数値であります。

(売上高)

顧客との契約から認識した売上高の分解と報告セグメントとの関係は以下のとおりであります。

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		要約中間 連結損益計算書 計上額
	電子市場	一般水処理市場	
日本	47,333	50,136	97,470
アジア	31,971	11,171	43,143
北南米	7,778	21,985	29,764
EMEA	508	17,477	17,985
合計	87,592	100,770	188,363

- (注) 1. セグメント間取引控除後の金額を表示しております。  
 2. 売上高は当社または連結子会社の所在国および地域の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。なお、EMEAは欧州、中東、アフリカ地域を指しております。  
 3. アジアに含まれる中国の売上高は20,719百万円であり、その内訳は、電子市場17,273百万円、一般水処理市場3,446百万円であります。  
 4. 北南米に含まれる米国の売上高は26,237百万円であり、その内訳は、電子市場7,778百万円、一般水処理市場18,459百万円であります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		要約中間 連結損益計算書 計上額
	電子市場	一般水処理市場	
日本	39,479	52,700	92,180
アジア	37,594	10,587	48,182
北南米	9,795	25,614	35,409
EMEA	458	19,299	19,757
合計	87,328	108,202	195,530

- (注) 1. セグメント間取引控除後の金額を表示しております。  
 2. 売上高は当社または連結子会社の所在国および地域の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。なお、EMEAは欧州、中東、アフリカ地域を指しております。  
 3. アジアに含まれる中国の売上高は26,061百万円であり、その内訳は、電子市場22,665百万円、一般水処理市場3,396百万円であります。  
 4. 北南米に含まれる米国の売上高は31,425百万円であり、その内訳は、電子市場9,795百万円、一般水処理市場21,629百万円であります。